

平成 26 年度 第 1 回 二宮町男女共同参画プラン推進連絡会 会議録

1. 日 時

平成 26 年 7 月 3 日 (木) 午前 10 時 00 分より正午まで

2. 場 所

二宮町町民センター 2 階 2A クラブ室

3. 出 席 者

○二宮町男女共同参画プラン推進連絡会委員

山内会長 今井副会長

杉崎委員 関口委員 磯部委員 小澤委員 井上委員

○坂本町長 (委嘱状交付、あいさつ後退席)

○二宮町政策部企画政策課

事務局：秋澤部長 志賀課長 西岡副主幹 木村主査

○傍聴者：なし

4. 議 題

(1) 「第 2 次にのみや男女共同参画プラン」の概要と推進体制について

(2) 今年度の取組みについて

(3) 「第 2 次にのみや男女共同参画プラン」実施事業の進捗状況概要について

(4) その他

(5) 内閣府男女共同参画局の啓発用 DVD の鑑賞 (30 分)

『夢へのパスポート～まちづくりにかける元気な女性たち～』

※東京都大田区 団塊世代が「元気」を生み出す街にしたい！

【説明】

・「第 2 次にのみや男女共同参画プラン」(以下：プラン)は、平成 25 年度から平成 34 年度までの 10 年間を実施期間とし、5 年毎に前期、後期と位置付けている。

・将来像を掲げ、3 つの基本方針を柱に、各々重点目標をおき、目標に沿った施策を実施していく。

・二宮町男女共同参画の推進にあたって、平成 20 年よりシンボルマークを活用している。「男女共同参画」の言葉の固いイメージをやわらげる効果を期待し、町事業などに活用していく。

・本年度、推進連絡会の開催は、2 回を予定している。

・プランへの意見や提案、町や県等の主催する男女共同参画事業へ参加

など、プラン推進及び啓発をしていただきたい。

- ・自分の周囲や組織内部（選出団体等）への意識啓発や、行政との連絡の橋渡しになっていただきたい。

- ・推進連絡会の活動内容として、町の男女共同参画関係の催しなどのサポートや町広報紙に掲載する記事検討などをお願いしたい。

- ・平成25年度のプラン実施事業進捗状況調査について、各課からの報告の概要をまとめた。各課からの報告は『参考1』『参考2』を参照してほしい。

【主な意見】※ 委員意見○ 事務局意見☞

○会議の開催は、2回なのか。

☞毎年2回を予定しているが、検討事項等ある場合は追加開催できる。

☞補足として、中井町や大磯町などで開催される男女共同参画講演会については、事前に通知を差し上げ、出欠のとりまとめを事務局で行う。時期は、秋頃になると予想される。

○『参考2』の表の見方を教えて欲しい。

☞国が女性登用率30%の目標を掲げているのは、地方自治法第202条の3に基づく審議会等であり、平成26年4月1日現在町の女性登用率は、21%となっている。国は関与していないが、町の委員会等の登用率も掲載している。全体としては、27%になる。

○健康づくり支援で、小中学校の給食に二宮産の野菜を使用しているのは、とても良いことである。

○地区の中で、男女共同参画も大切だが、色々な行事を行うのに後継者がいない。男女はもちろん、さまざまな年齢層の人が協働していかなければならない。

○地区の防災訓練に参加したが、テント張りは男性、炊き出しは女性で役割が決められている。災害が起こった時には、男女関係なく動かなくてはならないので、男女問わず訓練の内容に参加することが望ましい。

○地域の活動については、男女関係なく取組まれている、協力し合っていると思う。

○子どもが地区などの行事に参加するには、大人の連携が必要である。子ども会の役員など引継ぎの時には、そこで築いた様々な繋がりを切らないよう声かけなどお願いしたい。さまざまな年齢層が協力できれば、自然と男女共同参画になる。子どもたちにも顔のわかる大人が増えることは良いことである。

○町の商店街での買い物は、昔から店の人と仲良くなることで親近感がわき、買い物がしやすくなるが、新しいお客はなかなか店で買い物ができない。地域の活性化のためにも、新しいお客や店主を受け入れることは大切である。意欲のある若者が空店舗に店をだしたいと思っても、家賃が高く借りることができないなどの問題点がある。女性が商売をやりたいたいと思っても、結婚してしまうと商売を続けられない。仕事をしながら子育てできる環境をつくってほしい。

5. 決定事項

- ・平成 26 年度 第 1 回 男女共同参画プラン推進連絡会の公開の決定。